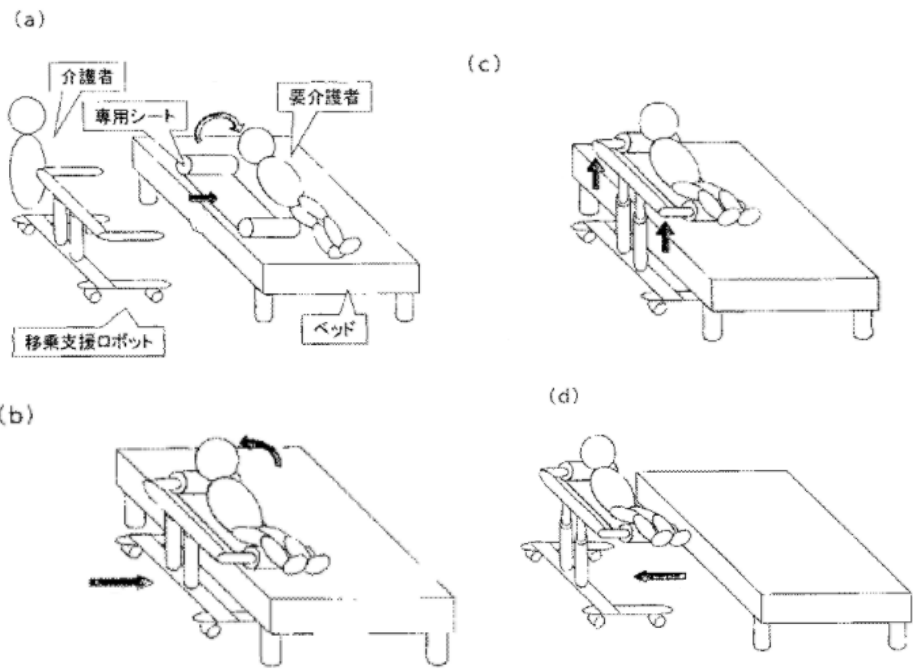


医療・保健衛生

介護ロボット

発明の名称	介護方法およびそれに用いる介護ロボット		
出願人/権利人	マッスル株式会社	発明者	玉井 博文、玉井 智
出願日	平成24年9月19日	出願番号	2012-206385
公開番号	2014-61035	特許番号	6142116
法的状態	登録中		

代表図



発明の概要

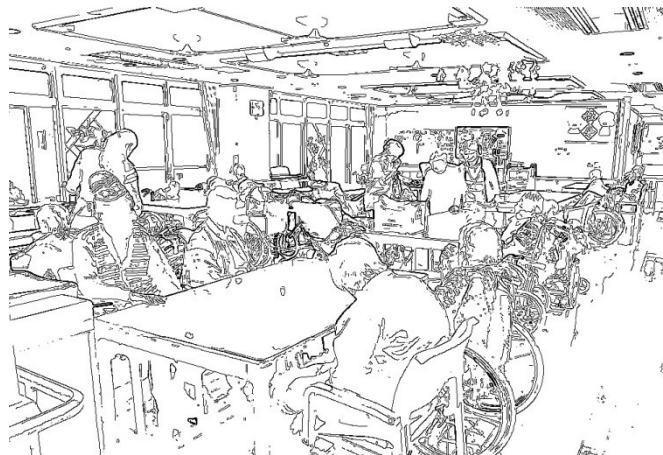
介護者および要介護者の負担を軽減できる介護方法およびそれに用いる移乗支援ロボット装置。

特徴

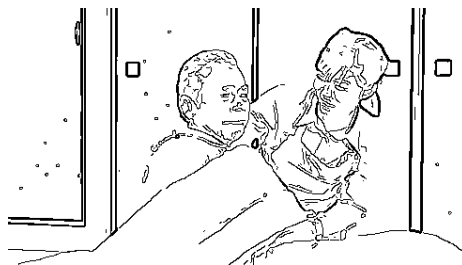
介護者による生活支援において、要介護者のベッドから車椅子への移乗などがなされている。移乗は、通常、一人の介護者により行われることから、介護者に多大の負担を強いている。

しかし、本発明では、両端にロボットの腕が挿入される円筒状の被保持部を有する専用シートに要介護者を寝かせ、ロボットアーム(腕)で専用シートを保持して要介護者をベッドから浮かせ、ロボットを後退させて要介護者をベッド脇に移動させることができることから、介護者の負担を著しく軽減することが可能となる。

応用の可能性



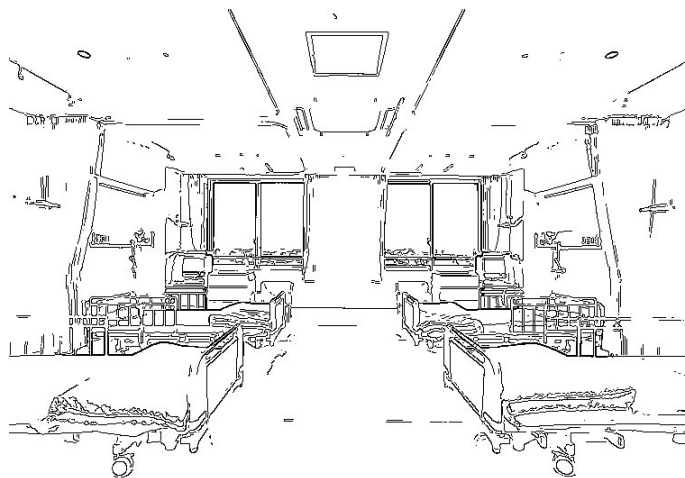
介護施設、老人ホーム



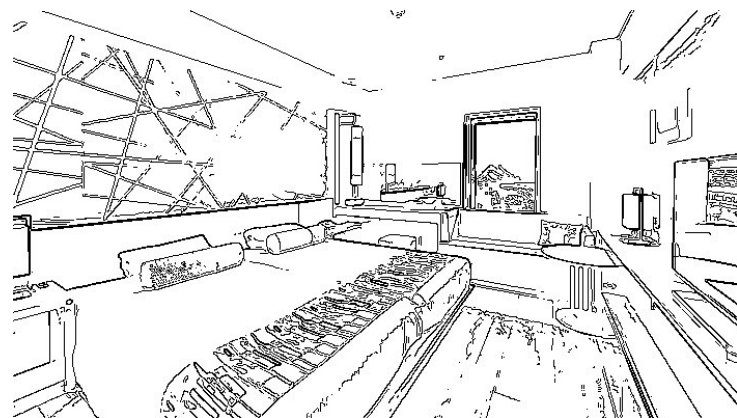
在宅介護



整骨院、鍼灸院



病院



ホテル、宿泊施設

など

応用の可能性

- ・介護施設、老人ホーム
- ・病院
- ・在宅介護
- ・ホテル、宿泊施設
- ・整骨院、鍼灸院
など

本技術の活用が見込める企業の一例

- ・独立行政法人国立病院機構
- ・大学病院
- ・SOMPOケアメッセージ株式会社
- ・株式会社ベネッセスタイルケア
- ・高齢者対応ホテル
- ・げんき堂整骨院
など

マッスル(株)の本発明に関する最新動向

- ・同社ホームページ(<https://www.musclerobo.com/>)内に記事掲載あり。
- ・介護ロボットポータルサイト(http://robotcare.jp/?page_id=110)にROBOHELPER SASUKEとして記事掲載あり。
- ・近畿経済産業局の事例集(http://www.kansai.meti.go.jp/2-7it/downloadfiles/s-healthcare_jirei/07_musclecorp.pdf)に記事掲載あり。